

この製品は細心の注意の元に製造されておりますが、
万が一商品に欠陥があった場合は、ただちに使用を中止し当社までご連絡ください。

保証について

保証書は(株)日本育児または、販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
保証期間はご購入の日から【 6ヶ月 】です。
なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

生産物賠償責任保険について

当社は本製品を安心してお使いいただけるように、品質に付いては細心の配慮をいたしております。この取扱説明書に従って正しく取り付け、正しい方法でお使いになったにもかかわらず、製品の欠陥により、怪我を負ったり財物が破損した場合は、その損害を補償する為に保険会社と「生産物賠償責任保険」の契約を結んでおります。事故が発生した場合は、ただちに当社までご連絡ください。

●ご注意：この制度は、障害などの身体的な損害と財物の破損についてのみ保証するもので、製品の品質について補償するものではありません。

中古市場で購入したもの、もしくは未使用でない譲渡品は、保証対象外になります。

保証書

本製品は当社の厳密な品質検査に合格したものであり、その品質を保証いたします。ご購入の日より【 6ヶ月 】以内に取扱説明書の注意書きにしたがって、正常な状態で使用して故障した場合には、下記の保証規定により無償修理いたします。

保証規定

保証期間はご購入の日より【 6ヶ月 】です。
修理は当社、またはご購入の販売店にて受け付けます。
修理の際は必ず保証書をご提示ください。ご提示のない場合は、有料となります。
ご購入の年月日、お客様の氏名住所、販売店名のご記入がない場合、またはそれらを訂正した場合は無効となります。

次のような場合には保証対象外となり、保証期間内でも有料となります。
●使用法の誤り、または乱用による故障。
●不当な修理改造、分解掃除等による故障。
●天災、火災による故障及び損傷。
●消耗部品、樹脂の経年劣化。
保証対象外の修理品の運賃等、諸掛り費用はお客様にてご負担願います。
本保証書は再発行いたしません。大切に保管してください。
本保証書は日本国内においてのみ有効です。
※破損の程度により有料でも修理致しかねる場合がございます。

有償修理の場合であっても、この保証書の提示のない場合は、修理しかねる場合があります。

品名	木製バリアフリーゲート Oridoor (オリドール)			保証期間	6ヶ月
お買い上げ日	年	月	日	住所	
お客様	ご住所	販売店			店名
	ご芳名	TEL			
様					

※製品の仕様は、改善などのために予告なく仕様を変更する場合があります。
本製品に関するご意見・ご質問がございましたら、下記連絡先までお問い合わせください。

輸入販売元 株式会社 **日本育児** 本社 〒541-0059 大阪市中央区博労町 3-6-1 御堂筋エスジービル TEL.06-6251-7420
東京営業所 〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町2-3-6 宗和ビル TEL.03-6231-0926

<http://www.nihonikuji.co.jp>

ORD00 2019.07-T

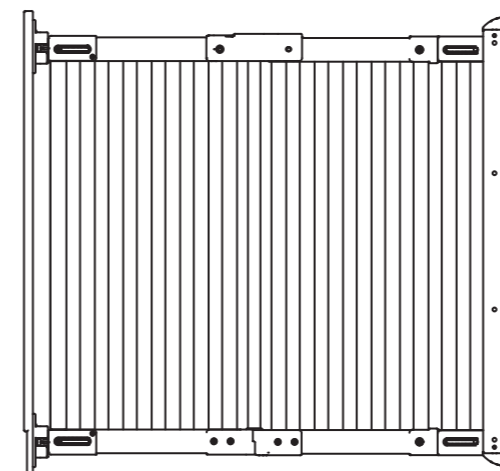


階段上でも
使用 OK!

対象年齢 6ヵ月～満2歳まで

設置間口
約 73.5～92cm

※両端の支柱が正対した状態で設置した場合の間口です。



- 本体サイズ：約幅 73.5～92×奥行 7×高さ 78cm
- 本体重量：約 4kg
- 材質：パイン材、ABS樹脂、PA、スチール
- 製造国：中国
- 生産物賠償責任保険つき

※商品の仕様は予告なく変更することがあります。ご了承ください。

取扱説明書
大切に保管してください

このたびは、本製品をお求めいただき誠にありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
取扱説明書は、ご使用になる方がいつでもご覧になれるように大切に保管してください。

目次

- 安全のために
 - ▲危険……………1
 - ▲警告……………2
 - ▲注意……………3
- 同梱部品……………4
- 設置の手順……………5～11
- ご使用方法……………12～13
- ご使用前の安全点検……………14

保証書裏面添付

本製品は、お客様による設置・調整・メンテナンスが必要な商品です。
本書をよくお読みの上、正しくお取り扱いください。
本製品は、木ネジを使用して設置しますので、ネジ穴の痕が残ります。
あらかじめご了承ください。



安全のため必ずお守りください

安全に使用していただくための重要な項目ですので必ずお読みください。

お使いになる前に

■ここに示した事項は、安全に関する重大な内容の記載です。表示と意味は次のようになっています。

危険 この表示の欄は、「死亡や重傷などを負う危険が切迫して想定される」内容です。

警告 この表示の欄は、「死亡や重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

注意 この表示の欄は、「傷害や物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です)

注意喚起 この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

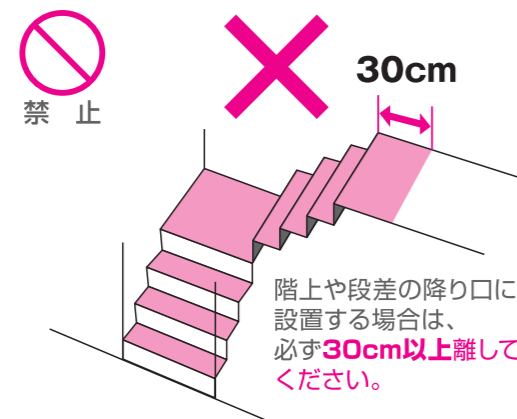
禁止 この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

強制 この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

危険 取り扱いを誤ると、死亡や重傷などを負う危険が切迫して想定されます。

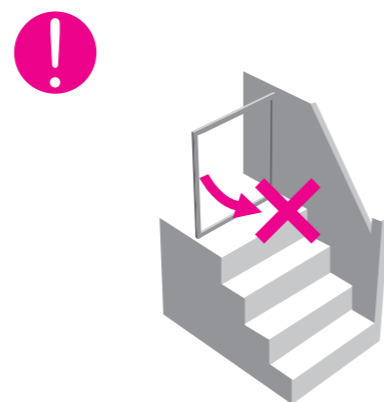
注意 本製品は必ず保護者のもとでご使用ください。取付けた後もお子様の安全には十分ご注意ください。

階上や段差の降り口から30cm以内、また、階段の途中には絶対に設置しないでください。



誤って扉が開いた場合、降り口のすぐ近くに設置していると、階段や段差の上から転げ落ちる原因となり大変危険です。

階段や段差の上(降り口)に設置する場合、階段側に開けにくいよう、必ず片開き用ストッパーを取り付けてください。



片開き用ストッパーを取り付けていないと、ゲートが階段側に開きます。誤って転落するおそれがあり、大変危険です。

お使いになる前に

警告 取り扱いを誤ると、死亡や重傷などを負う可能性が想定されます。

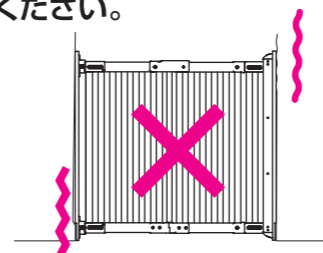
対象年齢未満、以上のお子様には、絶対に使用しないでください。

対象年齢:6ヵ月～満2歳まで



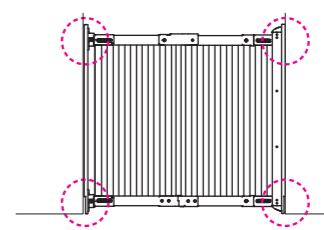
対象年齢に満たない乳児や、対象年齢を超えた幼児に使用すると、お子さまの思わぬ動きにより、重大な事故につながるおそれがあります。

ゲイトを完全に固定できない場所では使用しないでください。



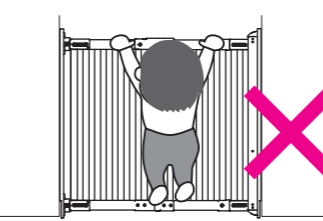
ゲイトが倒れたり、扉が完全に閉まらないなど、重大な事故の原因となります。確実に固定できる場所に設置してください。

定期的にゲイトや取付部品に、ガタツキやゆるみがないか点検を行なってください。



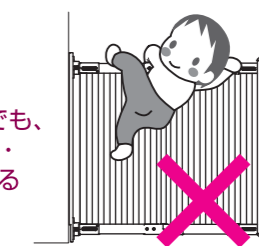
ご使用中に取付部品のネジがゆるんでくる場合があります。事故の原因となります。常に、ゲイトが正しく取り付けられているか確認してください。

ゲイトに寄りかかったり、扉にぶらさがったりしないでください。



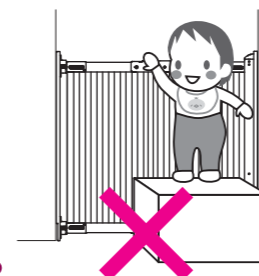
破損の原因となり、重大な事故につながるおそれがあります。

お子さまが、ゲイトに登ったり、ロックスイッチを開けられるようになったら、使用を中止してください。



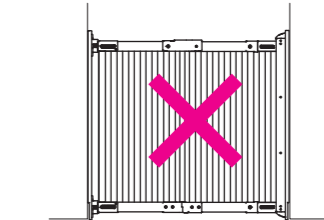
対象年齢内のお子様でも、成長の度合いや、知能・体格により、危険になる場合があります。保護者の方の判断で、使用を中止してください。

ゲイトの近くに踏み台になるような物を置かないでください。



お子さまがゲイトに登って転落するなど、重大な事故につながるおそれがあります。

ゲイト本体や部品が破損したら、ただちに使用を中止してください。



ゲイトが倒れたり、扉が完全に閉まらないなど、重大な事故の原因となります。

安全のため必ずお守りください

安全に使用していただくための重要な項目ですので必ずお読みください。

お使いになる前に

⚠ 注意 取り扱いを誤ると、傷害や物的損害が発生するおそれがあります。

その他の注意事項と、正しくお使いいただくためのお願い。

- 本製品の組み立て・取り付けは、必ず保護者の方が正しく行ってください。
- 必ず保護者のもとで使用ください。本製品を取付けた後も、お子様の安全には十分ご注意ください。
- 扉の開閉の際は、近くにお子さまがいない事を確認してください。
- 本製品は、必ず凸凹がない垂直な壁面に取り付けてください。
- 壁の材質によっては本製品が取り付けられなかったり、本製品の取り付けにより、壁・壁紙などが破損する場合があります。ご了承の上、必ず壁や壁紙の材質と強度を確かめたくて取り付けてください。
- 本製品を、暖房器具や火気の近く、また、屋外には設置しないでください。
- 開梱したあと、ただちに箱や袋をお子さまの手の届かないところに廃棄または保管してください。
- 小さな部品はお子さまの手の届かないところに保管してください。
- その他の注意事項は、必ず取扱説明書の指示にしたがい正しくご使用ください。

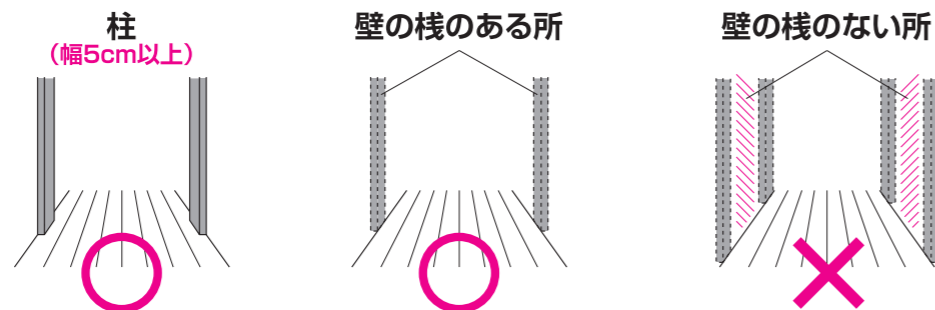
⚠ 設置場所について

本製品は丈夫な柱や壁面に取り付けます。下記の「取り付けられる所」をよくご理解の上、正しい場所に正しく取り付け、正しくご使用ください。

取り付けられる所

- 間口が約73.5~92cmの場所で、凸凹がない垂直な壁面に設置できます。
- ^{※注1}木ネジで固定するタイプなので、丈夫な壁や柱に取り付けてください。
- ^{※注2}壁面がベニヤや石膏ボードの場合、必ず^{※注2}棧に対してネジ留めしてください。

⚠ 注意 棧のない箇所に取り付けると、壁面が破損するおそれがあります。

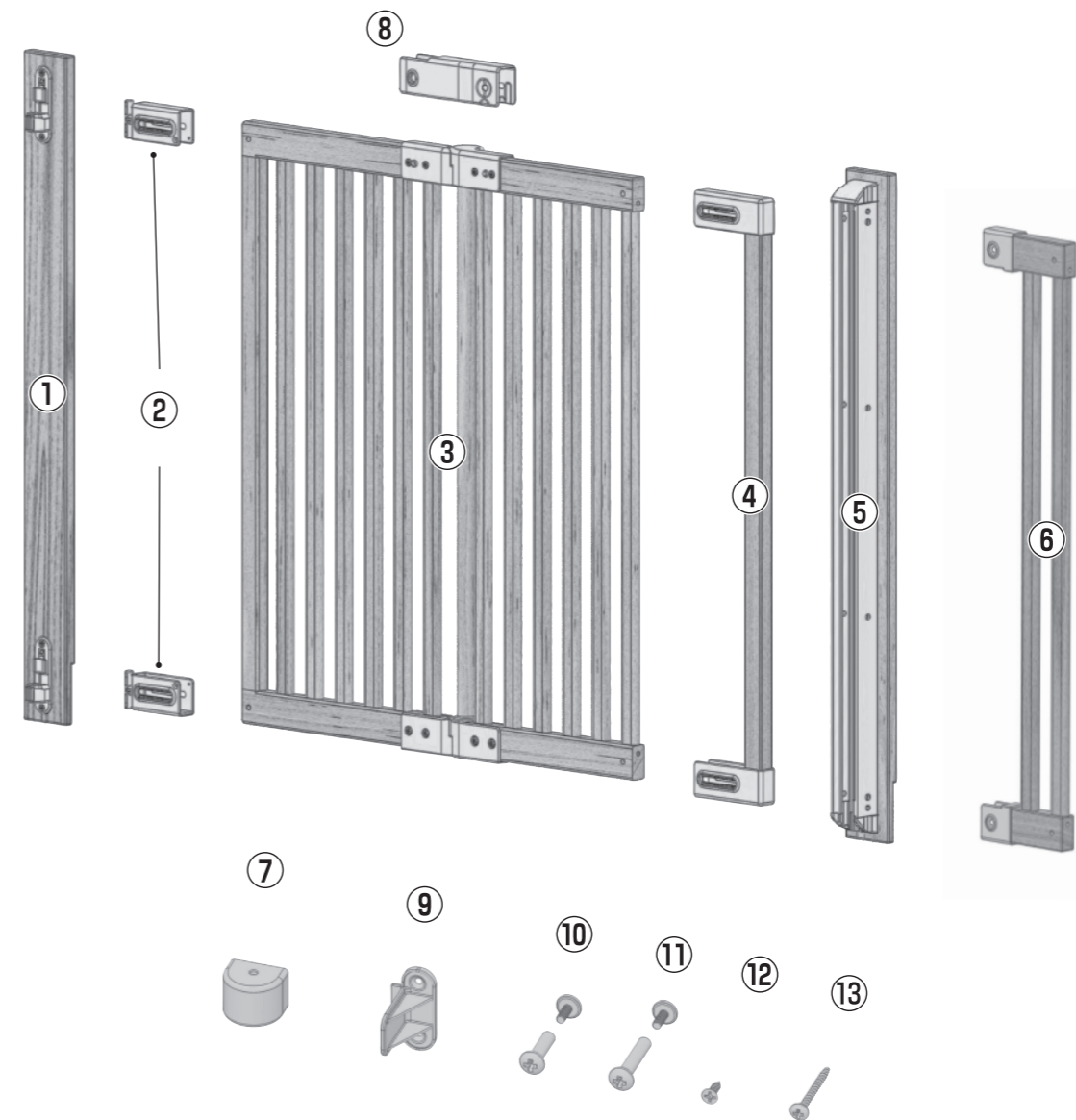


※注1：木ネジを使用しますので、ネジ穴の痕が残ります。あらかじめご了承ください。
※注2：壁面に隠れた棧の確認は、市販の棧探知機をお使いいただくか、お近くの工務店にご相談ください。

同梱部品

※組み立てる前に
部品がそろっている事をご確認ください。

①ヒンジ側支柱	……1枚	⑧ロックカバー	………1個
②ヒンジ部品	……2個	⑨片開き用ストッパー	………2個
③扉パネル	……1枚	⑩ジョイントネジ	………6組
④エンドフレーム	……1枚	⑪ロックカバー用ネジ	………1組
⑤レシーバー支柱	……1本	⑫木ねじ (短)	………12本
⑥拡張パネル	……1枚	⑬木ねじ (長)	………6本
⑦ヒンジアンカーキャップ	……2個		



設置の手順

※プラスドライバーを2本ご用意ください。

取り付け方法

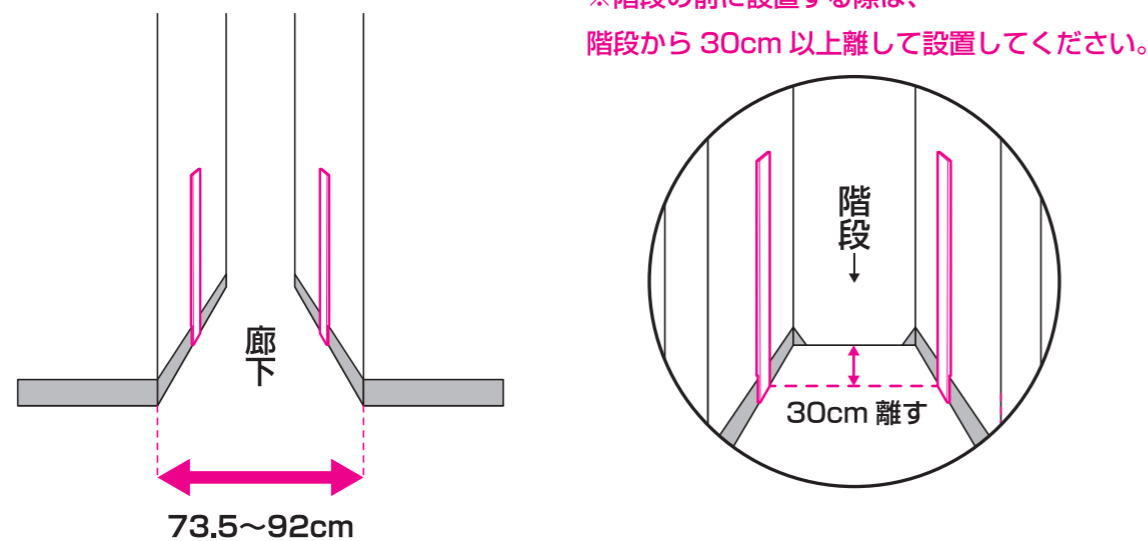
1 支柱の取り付け

①設置する場所により設置の条件が異なります。

まず設置する場所を確認のうえ、適合する欄をご覧ください。

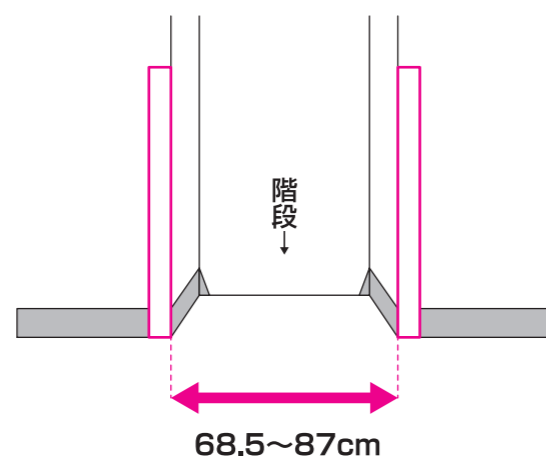
① 支柱を向かい合う様に設置する場合

間口や廊下に設置する場合



② 支柱を正面に向け並べて設置する場合

階段の降り口の手前の壁に設置する場合

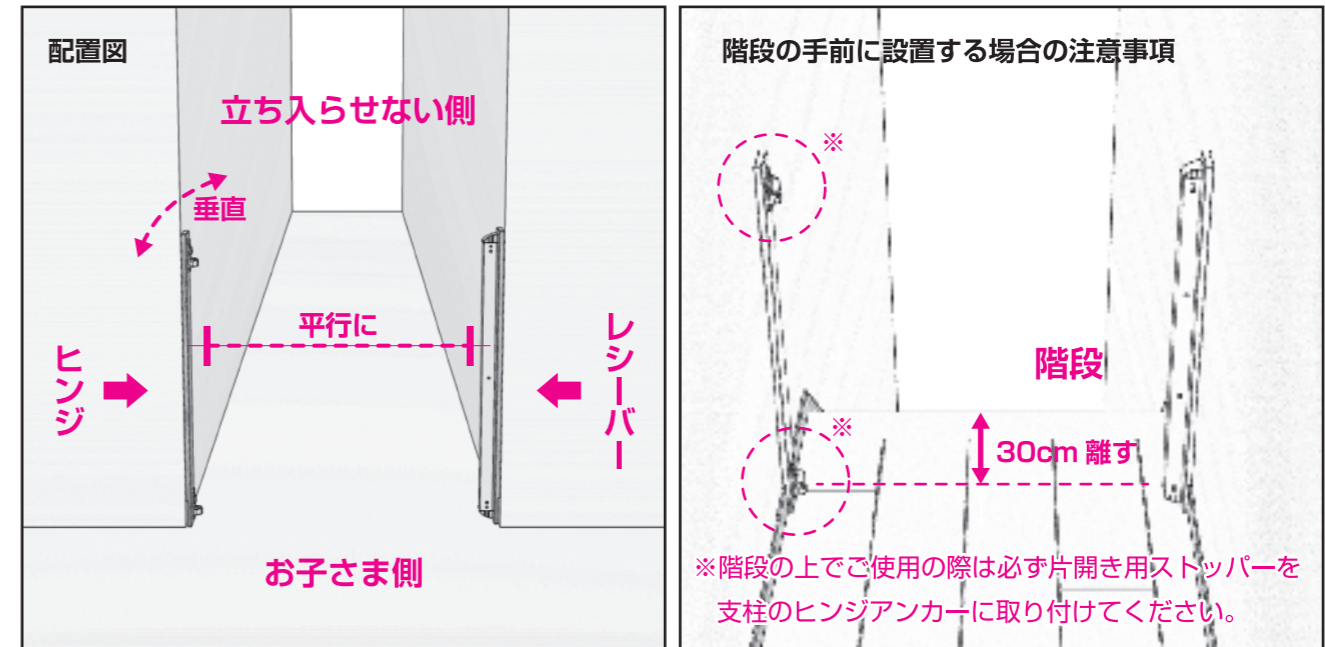


① 支柱を向かい合う様に設置する場合

設置の前に

前頁を参考に設置箇所の間口を測り、①設置条件の範囲であることをご確認ください。
また、前述の通り設置する壁の強度をご確認ください。

通常お子さまが居る側から向かって、右側にレシーバー、左側にヒンジが来るよう配置してください。階段の手前に設置する場合も同様です。



片開きストッパーの取り付け方

階段上に取り付けの場合必ず片開きストッパーを取り付けてください。



●各支柱の木部に木ネジ(長)を各3本使用し、壁に固定してください。

※レシーバー側の支柱を壁に固定する場合は、右図点線で囲まれたスリットを利用してください。

※階段上で使用する場合は、左図ヒンジ側に片開きストッパーを必ず取り付けてください。



▲注意

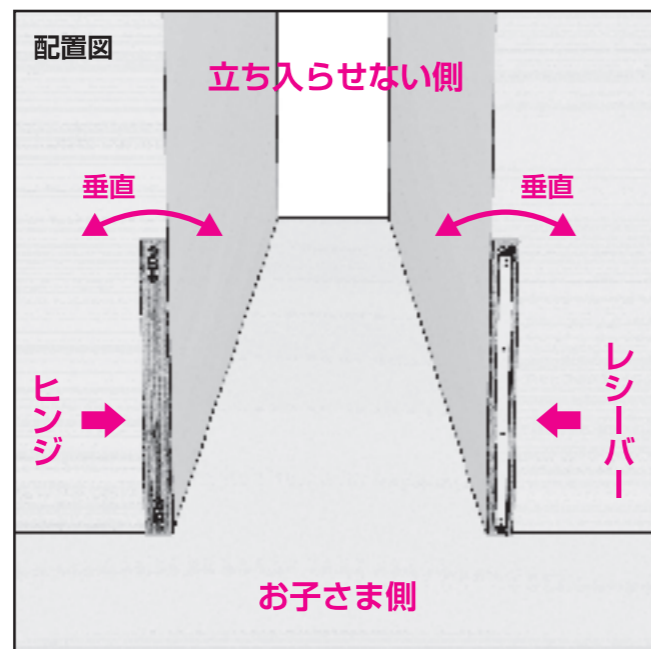
壁面がベニヤや石膏ボードの場合、必ず壁内の桎に対してネジ留めしてください。桎のない箇所に取り付けると、壁面が破損するおそれがあります。

② 支柱を正面に向け並べて設置する場合

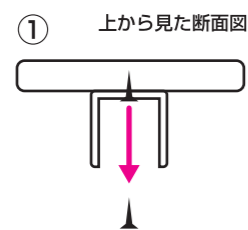
設置の前に

前頁の図を参考に設置箇所②設置条件の範囲であることをご確認ください。
 また、前述の通り設置する壁の強度をご確認ください。

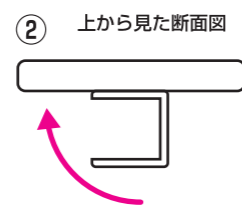
通常お子さまが居る側から向かって、右側にレシーバー、左側にヒンジが来るよう配置してください。階段の手前に設置する場合も同様です。



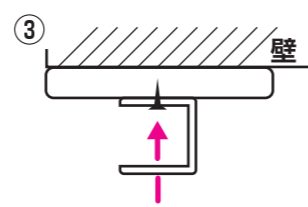
レシーバーの向きを変更します



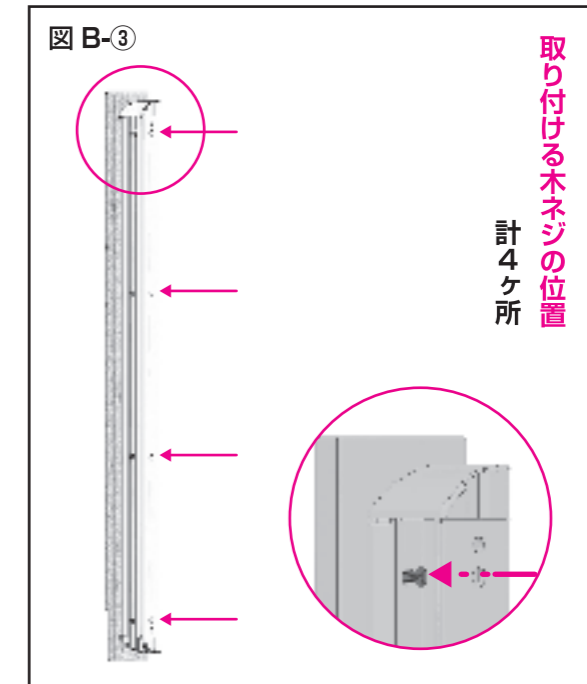
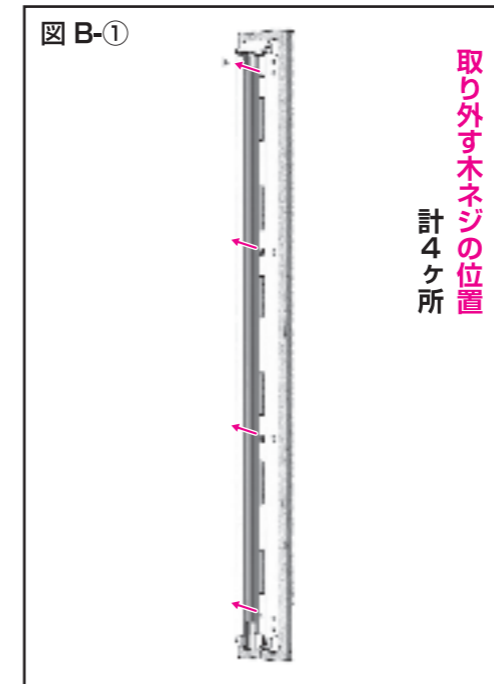
① レシーバーを支柱に固定している木ねじを4ヶ所（次頁図 B-1 参照）取り外します。



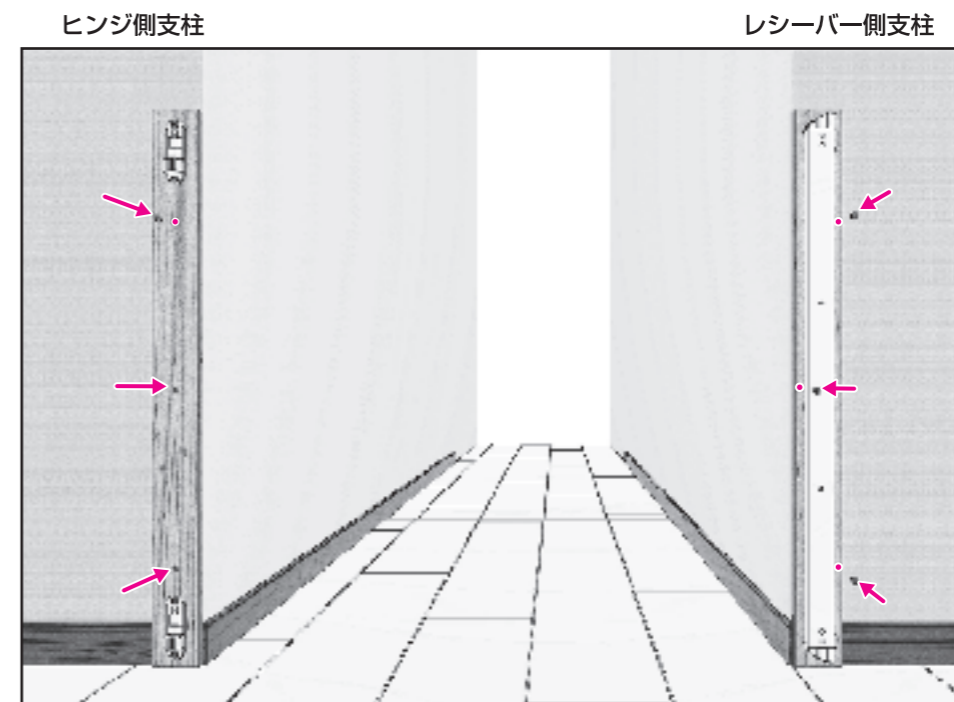
② レシーバーの向きを90度変更します。正面から見て左側にレシーバーの開口部が来るようにして、支柱の中心に配置します。



③ レシーバーの側面に空いた3箇所の穴を利用し、レシーバーを支柱に取り付けてください。（次頁図 B-3 参照）



支柱を壁面に固定します



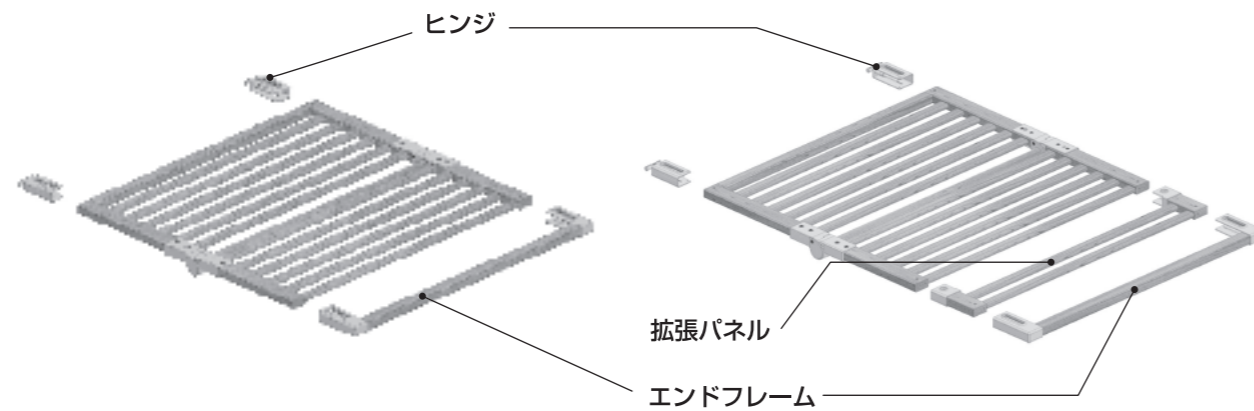
木ねじ（長）を3本使用し、各支柱を壁に固定します。
 ※レシーバー側の固定は、レシーバーのレールの左右の木の部分に図のように3ヶ所固定してください。

注意 壁面がベニヤや石膏ボードの場合、必ず壁内の桟に対してネジ留めしてください。桟のない箇所に取り付けると、壁面が破損するおそれがあります。

2 扉パネルの仮組み

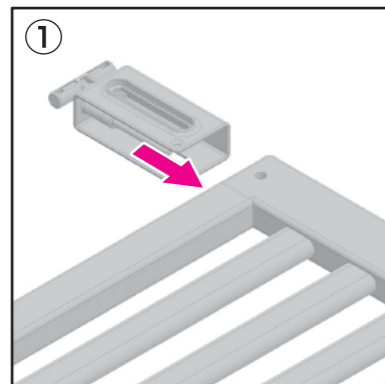
A 設置する間口が 73.5~83cm

B 設置する間口が 83~92cm

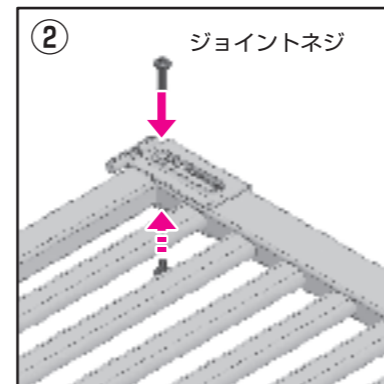


①扉パネルにヒンジを取り付けます。

※ヒンジ部品は、梱包時には扉パネルにはめ込まれています。
外れてしまった場合は、図の通り取り付けてください。

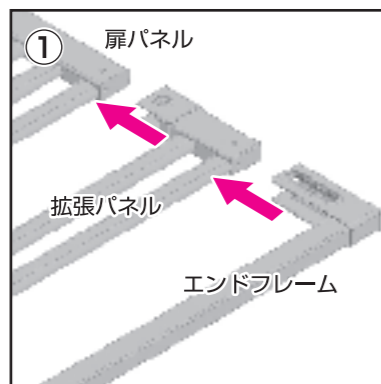


①ヒンジを扉パネルにはめ込みます。
※扉パネルは、中央の折れ曲がり部分を境に左右で
パネルの幅が異なります。
ヒンジは広い幅のパネルに取り付けてください。

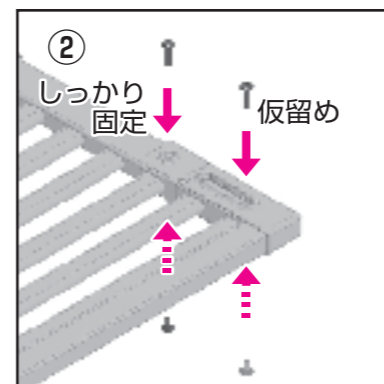


②ジョイントネジを使いヒンジ部品を仮留めします。
※上下2ヶ所とも同様に行ってください。

②エンドフレームおよび拡張パネルの取り付け

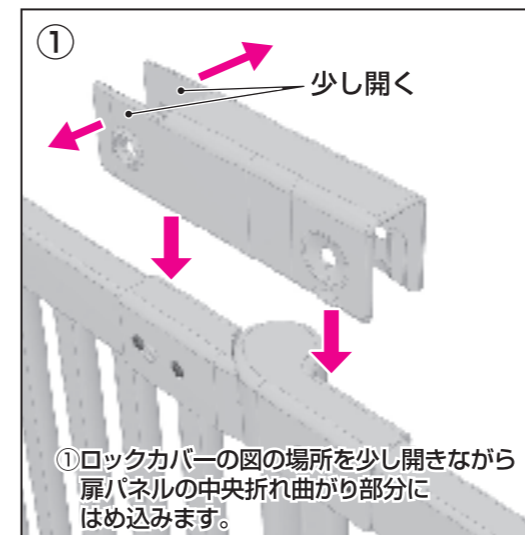


●拡張フレームを扉パネルに差し込みます。
続いてエンドフレームを拡張フレームに差し込みます。
※拡張フレームを使用しない場合は、エンドフレームを
扉パネルに接続してください。

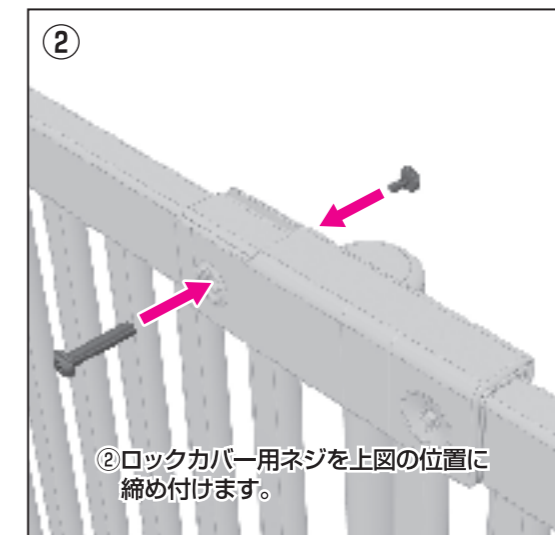


●拡張パネルをジョイントネジでしっかりと固定します。
●エンドフレームは、ジョイントネジを使い、エンド
フレームがスライドする程度の強さで仮留めします。

3 ロックカバーの取り付け



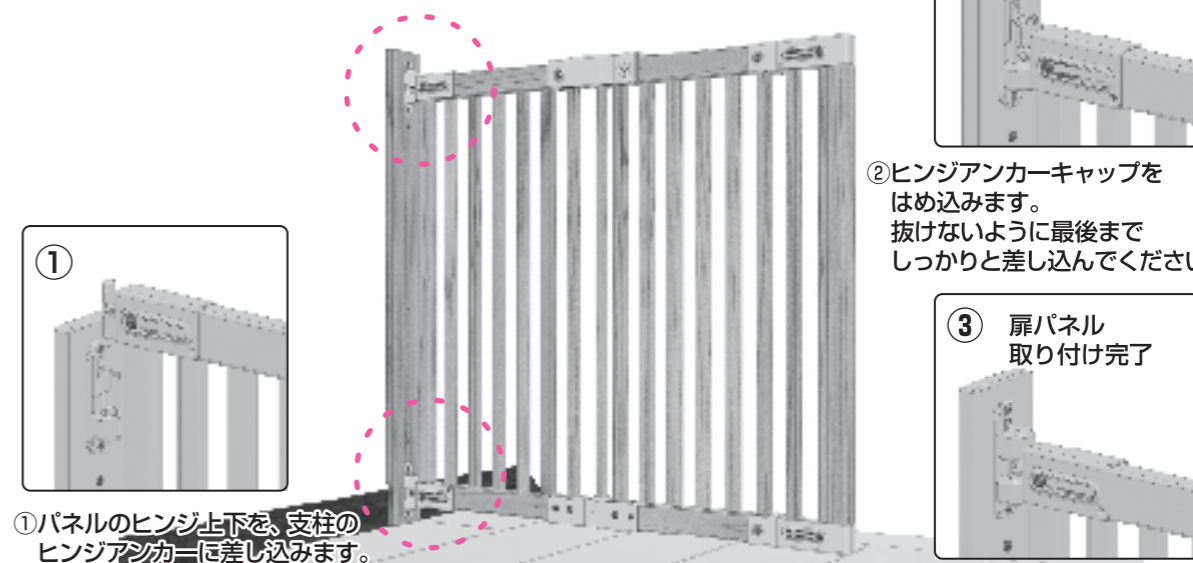
①ロックカバーの図の場所を少し開きながら
扉パネルの中央折れ曲がり部分に
はめ込みます。



②ロックカバー用ネジを上図の位置に
締め付けます。

4 扉パネルの取り付け

①扉パネルに取り付けたヒンジを図のように支柱のヒンジ用ベースに差し込み、ヒンジベースキャップを取り付けます。
②階段上でご使用の場合は、
図の箇所に片開きパーツを取り付けてください。



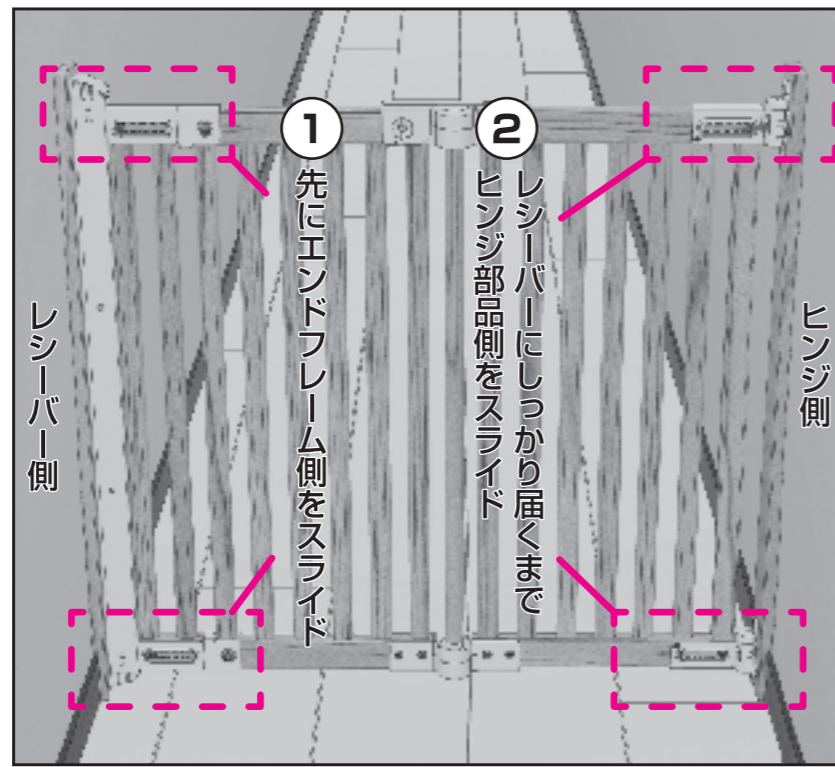
①パネルのヒンジ上下を、支柱の
ヒンジアンカーに差し込みます。

②ヒンジアンカーキャップを
はめ込みます。
抜けないように最後まで
しっかりと差し込んでください。

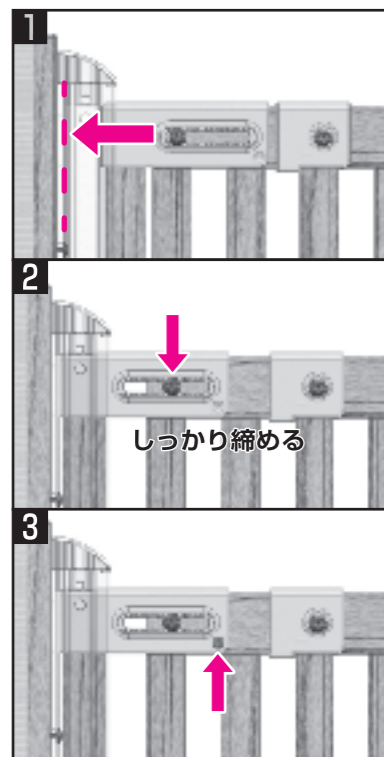
③ 扉パネル
取り付け完了

5 幅の調節

下図の順番に従って幅を調節してください。



1 エンドフレーム側

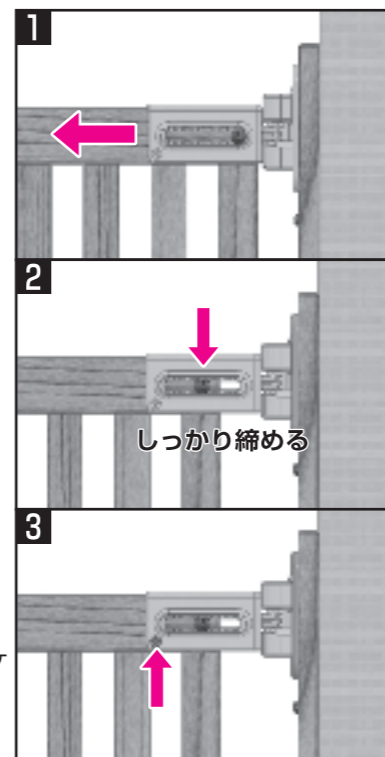


1 間口に合わせてエンドフレームをレシーバーの奥までスライドさせてください。

2 仮留めしていたエンドフレームのジョイントネジをしっかりと締めて、エンドフレームが動かないよう固定してください。

3 エンドフレームがスライドしないよう図の矢印部を木ネジ(短)で固定します。上下各2ヶ所(計4ヶ所)

2 ヒンジ部品側



1 エンドフレームがレシーバーの奥まで届いていない場合は、ヒンジ部品側をスライドさせてエンドフレームがレシーバーにしっかり届くよう幅を調節してください。

2 仮留めしていたヒンジ部品のジョイントネジをしっかりと締めて、固定してください。

3 パネルがスライドしないよう図の矢印部を木ネジ(短)で固定します。上下各2ヶ所(計4ヶ所)

ご使用方法

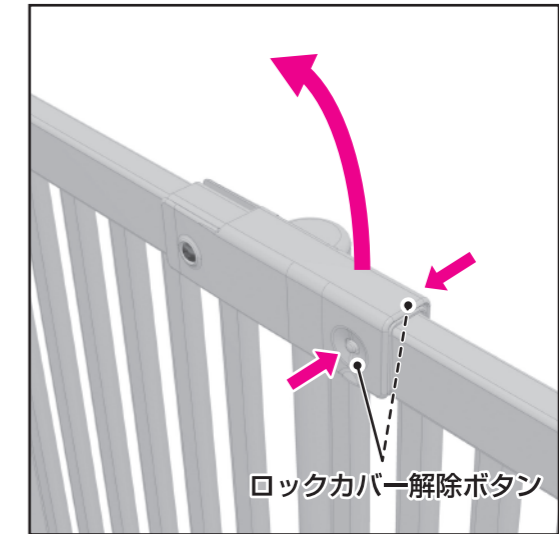
1 扉の開き方

① 閉じた状態



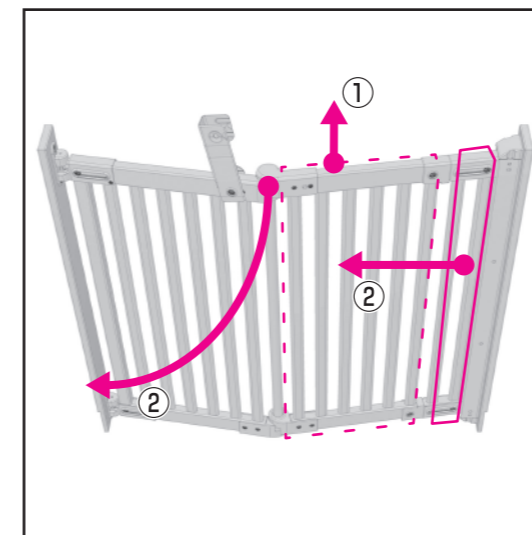
お子さま側から立ち入らせない側に向かった状態で説明しています。

② ロックカバーを開ける



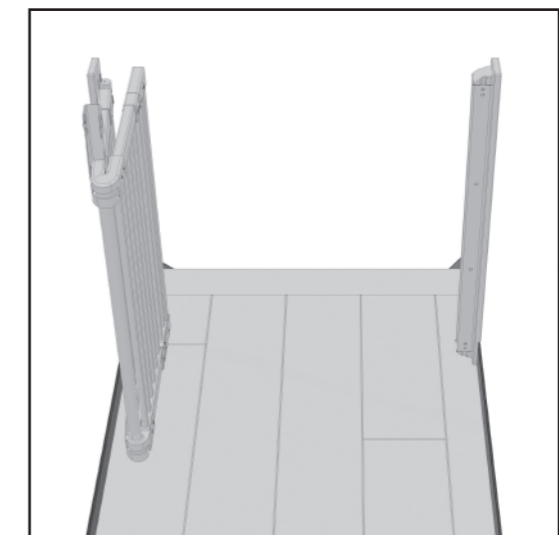
表裏両面にあるロックカバー解除ボタンを押し込みながらロックカバーを上方に引き上げます。

③ 手前に引く



① 扉パネルの破線部を軽く持ち上げます。
 ② 扉パネルを持ち上げたまま、扉パネル中央の折れ曲がり部分を手前に引きながら、扉パネルの先端部分(実線で囲まれた部分)をヒンジ側に向けて動かします。

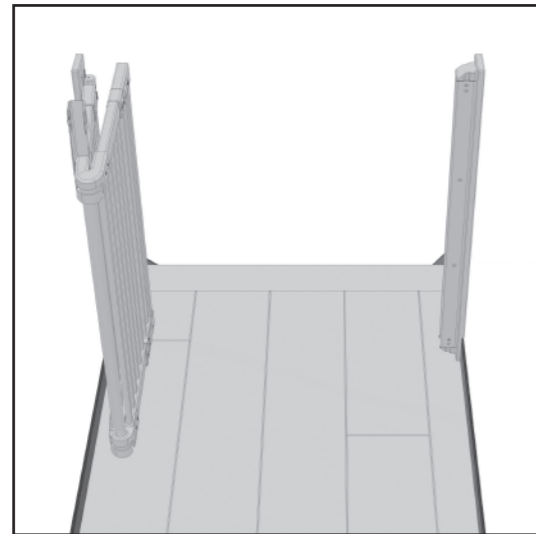
④ 開いた状態



完全に開いた状態は、上図のようになります。

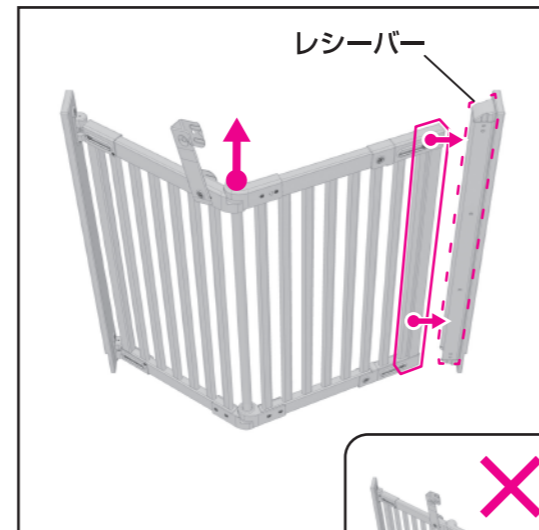
2 扉を閉じる

①開いた状態



お子さま側から立ち入らせない側に向けた状態で説明しています

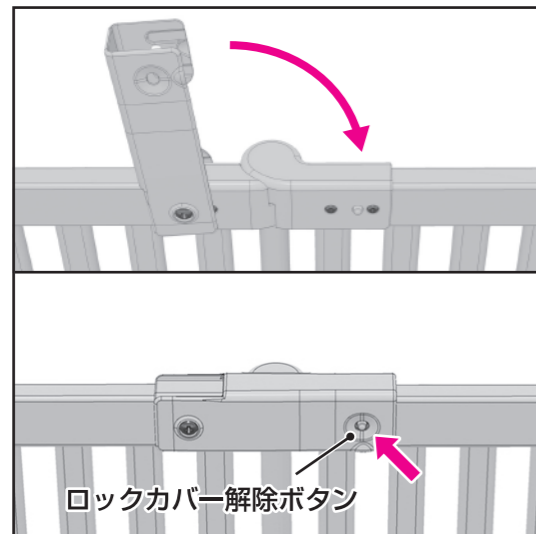
②扉パネルの先端をレシーバーのレールにはめ込む



扉パネルの先端をレシーバーのレールにはめ込みます。
※レシーバーに扉パネルの先端をはめ込む前に扉パネル中央の関節部が真っ直ぐになってしまうとレシーバーにはめ込むことができません。
閉じる際は、ヒンジ側のパネルを軽く押さえ、もう一方の手でパネルの先端部を軽く持ち上げながらおこなってください。



③ロックカバーを閉じる



ロックカバーを図のようにセットします。その際、ロックカバー解除ボタンがロックカバーの穴にかかっていることを確認してください。

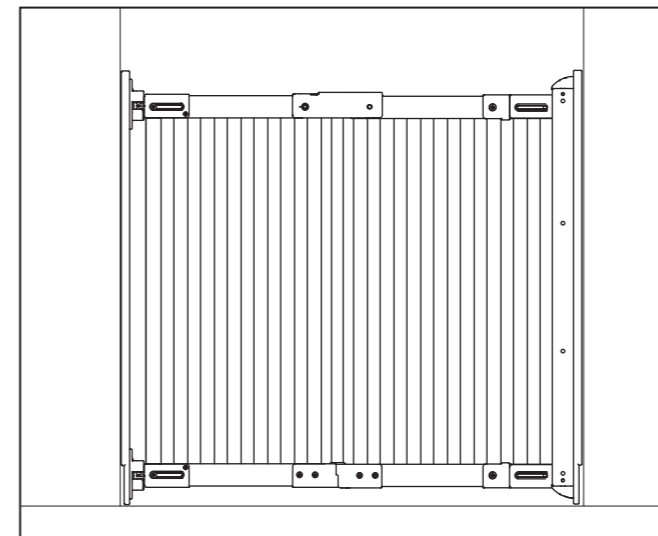
④閉じた状態



扉パネルがしっかりとレシーバーに入っており、ロックカバーが確実にかかっていることを確認してください。

△ご使用前の安全点検

ご使用前に正しく取り付けられているか、必ず安全点検をしてください。



- ①支柱が壁面にしっかりと固定されていますか？
※特に石膏ボードの場合は、壁面内の木部にネジで固定されている事を確認してください。
- ②階段上で支柱を向かい合わせて使用する場合、支柱が正しく取り付けられていますか。また、片開きストッパーを取り付けていますか？
※階段の上に支柱を向かい合わせて設置する際は、前述の支柱の取り付けで示した通りに支柱の取り付け位置にご注意ください。また、必ず階段側に開きにくいよう片開きストッパーを取り付けてください。

△問題がある場合は大変危険です。必ず取り付けをやり直してください。

重要 必ずご使用前に常に点検を行ってください。

	確認
ゲートは正しく設置できていますか？	
各部のネジや部品が緩んだり外れたりしていませんか？	
ゲートの各部に破損はありませんか？	



警告

点検を行い、一つでも問題があれば使用を中止してください。設置し直すなど、問題を解消してからご使用ください。問題が解消できない場合は使用しないでください。

安全のため、ご使用毎に常に確認を行ってください。

	確認
扉パネルがレシーバーに入っていますか？	
ロックカバーはしっかりと閉じられていますか？	